

広島県立農業試験場報告

第 1 号

昭和 26 年 12 月 10 日



広島県立農業試験場

發 刊 の 辭

本県農事試験場の人的陣容は、終戦を契期として全く一変した。夫れに伴い試験研究の内容も著しい進展を見せたが、県財政の窮乏に禍されて、試験研究の発表は意の如く涉らず、僅かに雑誌「広島農業」の特別報告としてその一部を公にして來たに過ぎない。

昨年9月、場の機構が農業試験場に改められたのを機会に、場自体としての成績発表を計画してから1ヶ年漸やく機熟して、その第1号を公にし得る運びとなつた。

今後、期を追つて号を重ね各科の業績を発表する予定であるが、本号には専ら病害虫に関する試験成績を載せることとした。

茲に新生農業試験場試験成績報告第1号の発刊を喜ぶと共に、災害対策科長三宅技師を中心とし萩原技師その他科員のしんしな努力を謝し、発刊の辭とする。

昭和26年12月5日

広島県立農業試験場長

河 野 肇

目 次

1 ウンカの越冬に関する実験的研究..... 1 頁

三 宅 利 雄
藤 原 昭 雄
石 井 卓 爾
乗 越 要

2 DDT乳剤の効力..... 22 頁

三 宅 利 雄
乗 越 要

3 稻熱病に対するセレスン石灰粉の効果..... 29 頁

萩 原 良 雄
中 村 啓 二
河 野 富 香